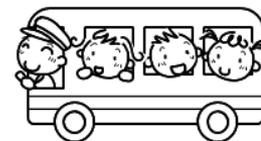
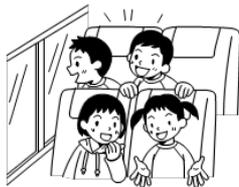


下多寄線デマンドバス運行に係る 事業内容の見直しについて

平成31年2月

名寄市地域公共交通活性化協議会



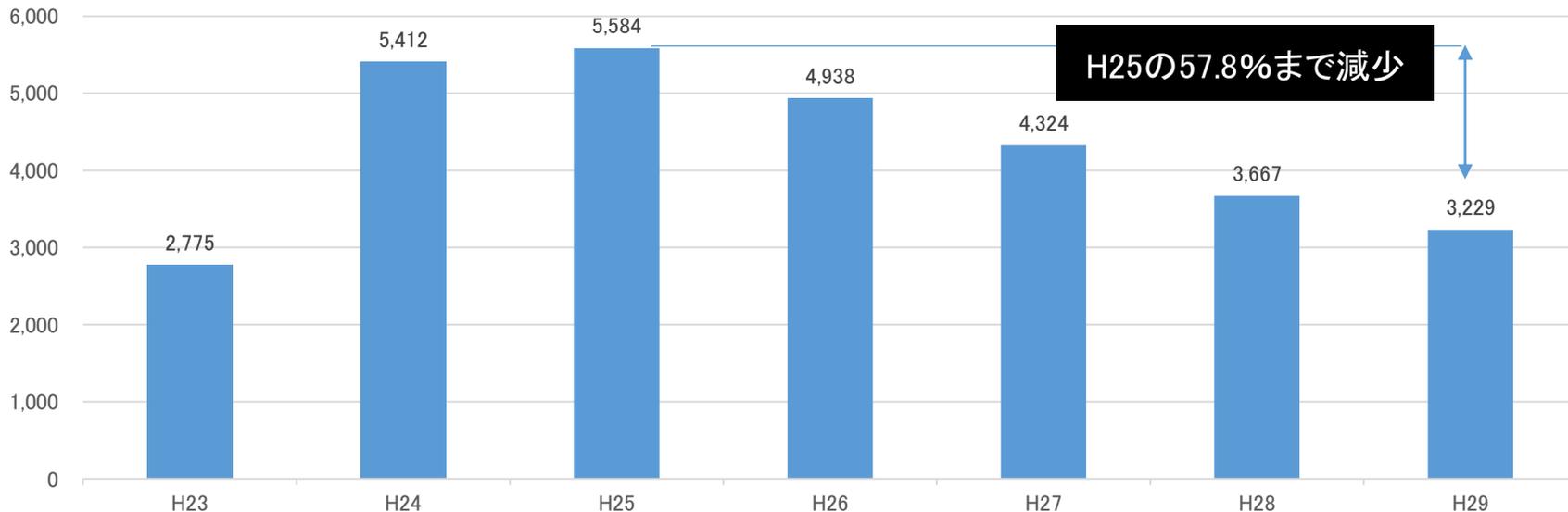
見直し事項等について

見直し事項	下多寄線デマンドバスにおける利用者範囲の拡大 (地区外利用者も利用可能としたい)
見直しに至る経緯	下多寄線デマンドバスは、対象エリア外の住民は利用することができない状況となっているが、10月1日から運行を開始している「御料線デマンドバス」は対象エリア外の住民利用が可能となっている 名寄市内のデマンドバス運行において基準が異なるため、見直す必要があると協議会で確認している
見直すことにより得られるメリット	御料線デマンドバスと利用者の基準が統一することに伴う公平性の確保
見直しによって懸念される事項	エリア外利用者が多く、エリア内利用者が利用できなくなるおそれ

乗車人員の年度別推移

(単位:人/年)

平成30年10月時点



※平成23年10月から本運行開始

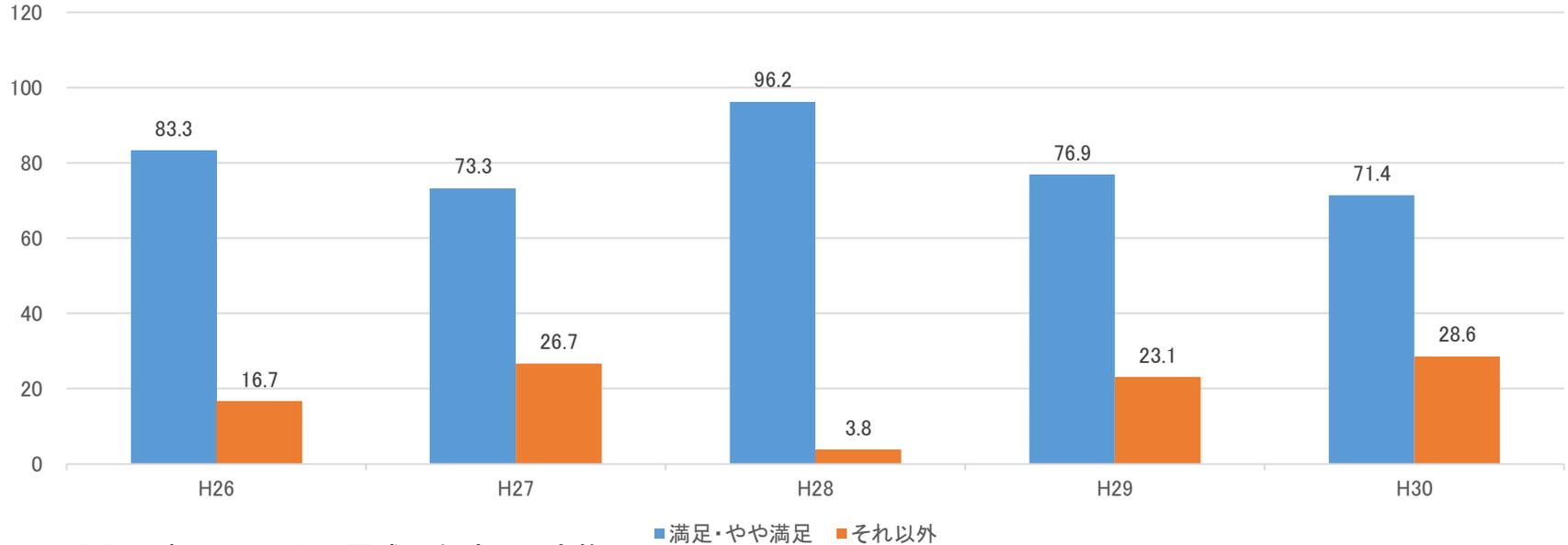
※平成27年10月から乗降場所追加(市民文化センター、風連歯科診療所、みなみまち歯科医院)

※平成30年10月から乗降場所追加(なよろ眼科)

利用者満足度の推移

(単位:パーセント)

平成30年10月時点



※利用者アンケートは平成26年度から実施

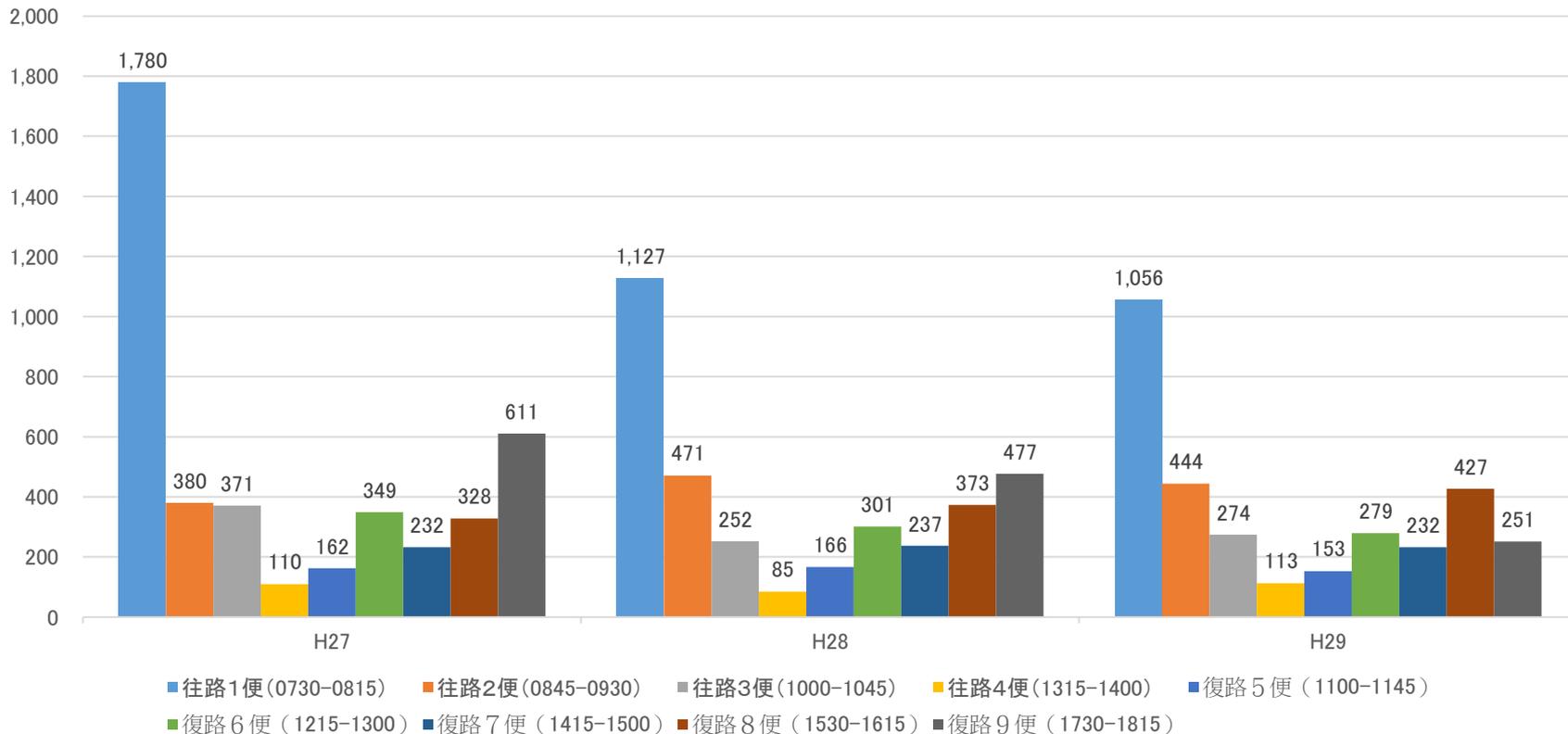
※全回答数のうち、「満足」「やや満足」を集計

※「それ以外」の多くは「普通」を回答し、「やや不満」「不満」の回答は無かった。

便数ごとの利用人数(全体)

(単位:人/年)

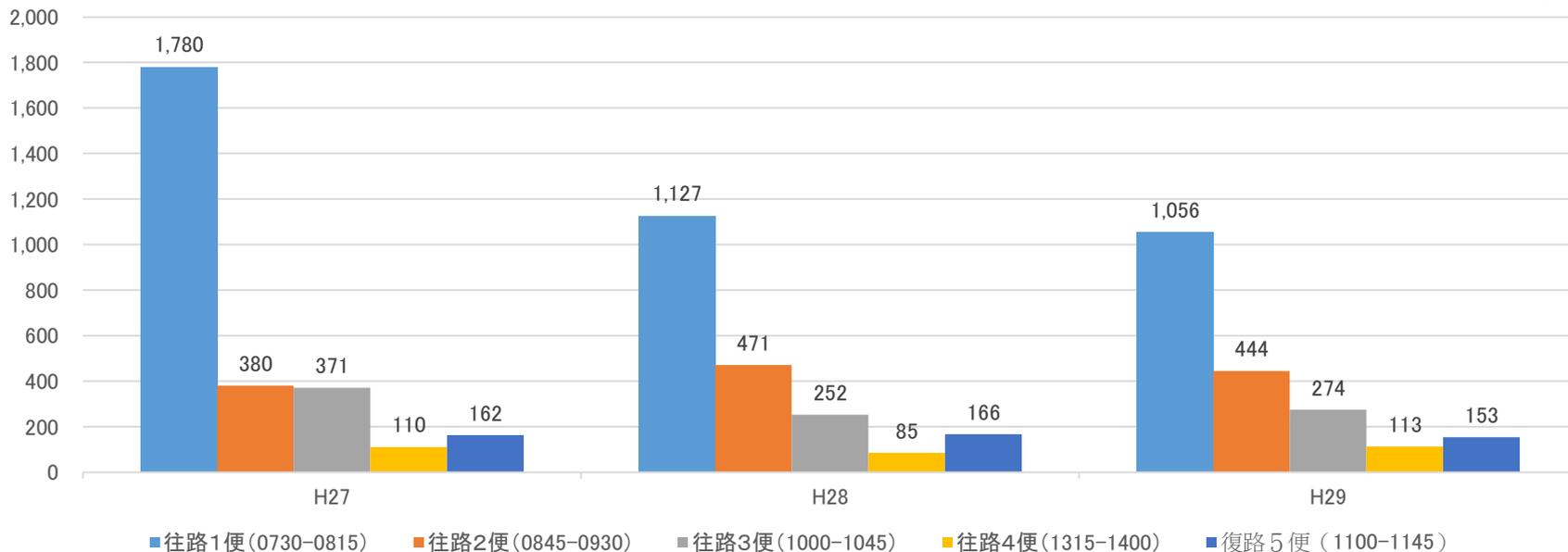
平成30年10月時点



便数ごとの利用人数（往路のみ）

（単位：人／年）

平成30年10月時点

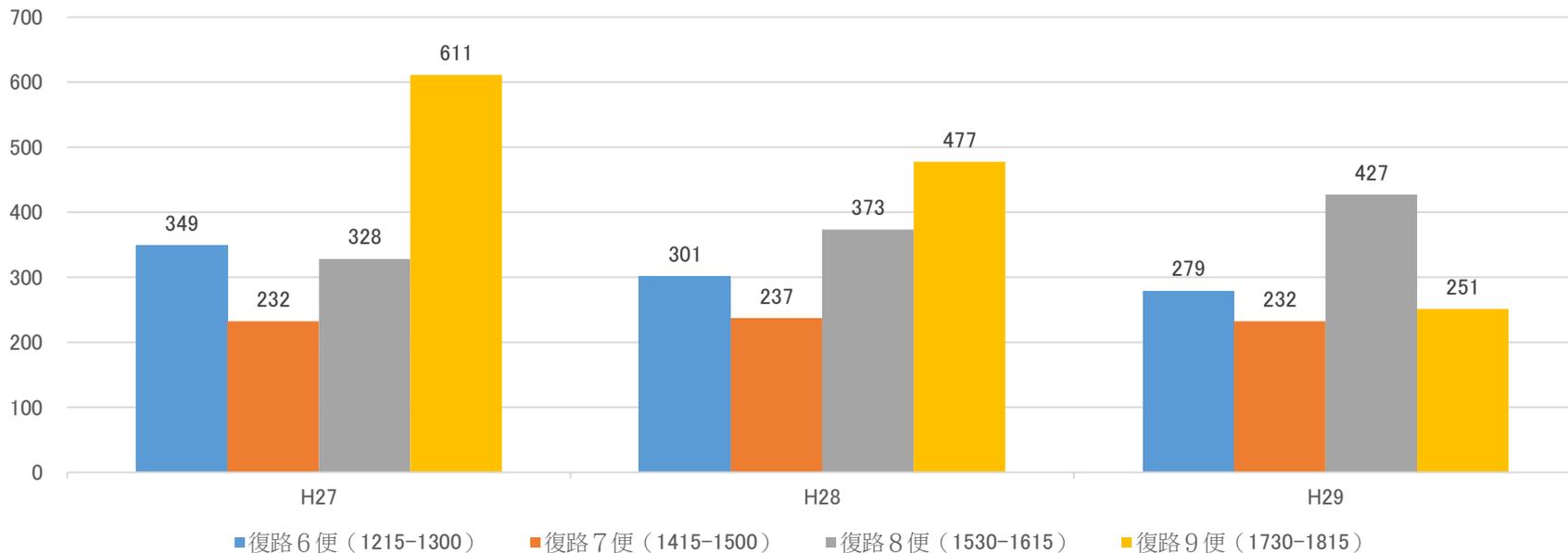


※全体的に往路1便が最も利用が多く、それ以外は利用が少ない。

便数ごとの利用人数（復路のみ）

（単位：人／年）

平成30年10月時点



※復路については満遍なく利用されている。
※復路9便の利用人数が大きく落ち込んでいる。

想定事項及び結論(案)について

エリア外利用者の 想定人数	事務局では今のところ「0人／便」を想定している ⇒年間通しても数人の見通しと思われる
29年度における 最大利用人数	1便あたりの最大利用人数は9人、最小は1人 ⇒ご利用のピークは第1便(往路)に集中 ⇒ピーク以降で満員になることは少ない
想定事項から 導き出される 結論(案)	下多寄線デマンドバスにおける利用者範囲を拡大しても、 これまでどおり地域住民の移動手段を確保することが できることから、利用者範囲の拡大は可能と考えられます